



学校報
第28号

にこにこ きらきら ゆめにむかって

おともがわ

令和6年度
大仙市立内小友小学校
令和6年11月14日

この学校報は、内小友小学校の保護者の皆様に配付しております。

11月6日
教育視察

宮城県の先生方が視察のため来校しました

先週の6日(水)、宮城県大郷町立大郷小学校、大郷中学校及び大郷町教育委員会の7名の方々が本校に来校し、5年生の算数の授業を参観しました。その後、大郷町の7名の先生方と本校職員で、情報交換の会議を行いました。5年生の授業を参観した大郷町の先生方からは、「自分の言葉や豊かな言葉(学習した算数用語等)で自分の考えを発表している子どもたちの姿におどろいた。」「友だちの発言に対してうなずく等の反応をしながら共感的に聞く姿勢や温かな雰囲気素晴らしい。」「このような授業を行うためには、子どもたち一人一人の自己肯定感や自己有用感が高まっていないと成立しないと思う。学校として、学級として、どのような取組をしているのか?」等、数多くのお褒めの言葉を頂きました。

グループでの話し合いの姿、そして全体での学びの姿等、他と積極的に関わりながら学習課題の解決に向かう5年生の姿は、まさに本校で目指している「きらきらひかる内小っ子」の姿そのものでした。



考えをPC上に書き込んでいる様子



自分の考えを他に伝えている様子



積極的な挙手

11月15日
開校記念日

地域に愛され、内小友小学校は150年目を迎えました

内小友小学校は、明治7年11月15日に五邑学校として開校し、その後、五邑学校から館前小学校、そして、内小友小学校へと改称しました。明治43年に内小友尋常高等小学校として現在地に創立後、昭和16年には学制改正により内小友国民学校と改称。また、昭和29年の大曲市制施行に伴い、大曲市立内小友小学校となりました。その後、昭和50年の中山小学校との統合を経て、平成17年の市町村合併により「大仙市立内小友小学校」として現在に至っています。



堂々の新校舎(昭和49年10月29日落成)



16日(土)には、いよいよ150周年記念式典が開催され、本校の器楽部が式典に花を添える予定です。また、本校の卒業生2名も一緒に演奏するというので、中学生と一緒に練習にも熱が入っています。また、式典では校歌の伴奏は、6年生の〇〇〇さんが行います(左写真参照)。当日は、みんなで内小友小学校150周年を祝いたいと思います。

※器楽部の演奏は13:00からとなります。また、式典終了後には、大曲高等学校の書道パフォーマンスがあります。

11月8日
ハローの会Ⅱ

持続可能な社会の創り手を育む交流

～全校児童が大曲支援学校のお友達と交流しました～

先週8日(金)、5月31日に実施した「ハローの会Ⅰ」に引き続き、大曲支援学校の児童と本校の児童との交流活動である「ハローの会Ⅱ」を行いました。今回は1、2、5年生は本校で、3、4、6年生は大曲支援学校を会場にして行いました。

約5ヶ月ぶりとなる交流ではありましたが、今回でも子どもたちの自然な気遣いや笑顔が随所に見られ、終始心温まる活動となりました。本校では「他者理解力の向上」を目指しております。相手の立場で物事を考えたり多様性を受け入れたりする姿勢を身に付けるために、これまで長く積み重ねられてきた「ハローの会」の経験は、子どもたちにとって大変重要なものとなっております。また、本活動は特色ある教育活動の一つであり、本校の子どもたちの穏やかな雰囲気は、長年続けられてきたこの交流によって育まれているのではないかと感じています。

これからの時代においては、SDGs(持続可能な開発目標)の実現が大きな課題であり、学校教育ではそれを踏まえ、地域や地球規模の諸課題について、子どもたち一人一人が自ら課題として考え、持続可能な社会づくりにつなげていく力を育むことが求められています。社会を構成する全ての人々と共に助け合い、支え合って生きていくことを学ぶ機会として、来年度はもちろんの事、これからも「ハローの会」が末永く続いていくことを願っています。



玄関での出迎えの様子



みんなでダンス!



「ハローの会」のうた



1年生の活動の様子



2年生の活動の様子



3年生の活動の様子



4年生の活動の様子



5年生の活動の様子



6年生の活動の様子



朝、手袋をしないでポケットに手をいれて登校する姿や、帽子をかぶらずにフードをかぶって登校する姿が見られます。大変危険ですので、手袋や帽子で防寒対策をお願いします。